

生物科学学会連合

The Union of Japanese Societies for Biological Science



加盟学会一覧 (五十音順)

個体群生態学会	日本生態学会
日本味と匂学会	日本生物教育学会
日本遺伝学会	日本生物物理学学会
日本宇宙生物科学会	日本生理学会
日本解剖学会	日本動物学会
日本細胞生物学会	日本発生生物学会
日本時間生物学会 (予定)	日本比較生理生化学会
日本植物学会	日本比較内分泌学会
日本植物生理学会	日本微生物生態学会
日本神経化学会	日本分子生物学会
日本神経科学学会	日本免疫学会
日本進化学会	日本薬理学会
日本生化学会	

(2010年4月現在)

今から十数年程前に当時の日本動物学会の会長で、又、日本生化学会の運営委員でもあられた故丸山工作先生が中心になられて、「生物科学」または「生物学」の発展のためにどのようなことをなすべきかについて考えられました。丸山会長はかねてより、生物系学会が緩やかな結びつきのもと、全学会が平等な立場で、連合を立ち上げられないかという構想をお持ちでした。国は日本を科学技術立国にするために「科学基本法」などをつくりましたが、当時の大学や教育・研究現場における理科離れは進んできており、このままでは日本の教育、とりわけ「理科」そのものも危ういと丸山先生は考えられていたようです。一方、理科の分野においては「物理学会」や「化学会」のような大きな学会が存在し、それなりに政府や研究・教育に対しても意見を述べたり、お互いに協力して討議したりするだけの力をもっていました。ところが「生物学」又は「生物科学」は従来の学問のまま、更に次々と細分化していき、お互いの学会間の協力はいくらか試みられていたようですが、必ずしも連携を上手く結ぶということにはなかなか至っておりませんでした。しかしながら、丸山会長の御発案のもと、いくつかの学会がお集まりくださり、2回ほどの非公式な会合がもたれた後、1999年、生物科学学会連合は発足する運びとなりました。そして当初の構想通り、「生物科学学会連合」は設立時には特定の学会を中心にするのではなく、各学会が1年交代で代表を務めるという方向で始めました。まだまだ組織としては貧弱ではありますが、これから足腰を鍛え、一つ一つ着実に誠実に物事に取り組んでいきたいと思っています。

ご挨拶



生物科学学会連合代表
宮島 篤

2009年1月より生物科学学会連合(生科連)の代表に就任しましたのでご挨拶申し上げます。

生科連には現在24の学会が加盟しており*、前代表の浅島先生および事務担当の(株)中西印刷様のご尽力により、本連合の運営体制が整備されました。生物科学は非常に幅の広い学問分野であり、すでに数多くの学会が存在し、各学会においてはそれぞれの分野の発展のために様々な活動をしておられることと思います。一方、各分野に特有の課題とともに生物科学という広い視野に立って取り組まなければならない課題も多々あります。生科連は、そうした単独の学会だけでは解決が困難な課題に対して、多くの学会が情報を共有して知恵を絞ることで、我が国における生物

科学の教育や研究が直面する課題の解決を図るとともに将来を見据えた提言をして、生物科学の発展に大きく寄与することを目的とした組織です。

そのためには何よりも各学会の皆様方の御協力が必須であります。もとより、私は微力ではありますが、皆様の御意見に耳を傾けながら全力で取り組んでいく所存であります。現状における課題や今後の生物科学の発展のために生科連として取り組むべき課題などございましたら事務局の方にお寄せ下さい。生科連がお互いに忌憚のない意見や討議を通じて生物科学の一層の発展に寄与することを願っております。御協力と御指導をよろしくお願い申し上げます。

※さらに1学会が入会予定

● 個体群生態学会



会長： 磯佐 庸
(2010年4月1日現在)

- 1961年設立
- 会員数：355名
- 〒606-8502
京都市左京区北白川追分町
京都大学農学研究科昆虫生態学研究室
- 連絡先 西田隆義 (事務長)
- Tel：075-753-6475
- Fax：075-753-6474
- URL：準備中

生物の個体群に関係した生態学や進化学の発展をはかるため、大会を年1回開催。日本の生態学分野の英文誌としてもっとも歴史が長く、国際的評価も高いPopulation Ecologyを年4回発行。若手研究者の顕彰などにもとりくんでいる。

● 日本味と匂学会



会長： 桜 秀人
(2010年4月1日現在)

- 1991年設立
- 会員数：830名
- 〒783-8505
南州市岡豊町小蓮
高知大学医学部生理学講座
- Tel/Fax：088-880-2307
- E-mail：jasts@kochi-u.ac.jp
- URL：http://epn.halkagoshima-u.ac.jp/JASTS/jastsk.html

本学会は、前身である味と匂のシンポジウムが1967年に発足して以来、味と匂に関する科学の広範な研究の進展を図るため、学術大会の年1回開催、学術講演会／ワークショップの随時開催、日本味と匂学会誌の年3回刊行、メーリングリストの運用等により会員の交流を促進し、顕彰事業などを通して若手研究者の育成にも積極的に取り組んでいる。

● 日本遺伝学会



会長： 五條堀 孝
(2010年4月1日現在)

- 1920年設立
- 会員数：約1,131名 (2009年8月20日現在)
- 〒411-8540
静岡県三島市谷田1,111
国立遺伝学研究所内
- Tel/Fax：055-981-6736
- E-mail：japgenet@lab.nig.ac.jp
- URL：http://www.soc.nii.ac.jp/gsj3/index.html

遺伝に関する研究を奨めその知識の普及を計ることを目的に、学術集会を年1回、談話会を各地で年6回ほど開催、学術誌Genes & Genetic Systemsを年6巻発行、さらにニュースレターのGSJコミュニケーションズの年3回発行等を行っている。また、学会賞を設け優れた研究業績を一般に知らせるとともに、奨励賞を設け若手研究者の助成を行っている。

● 日本宇宙生物科学学会



会長： 大西 武雄
(2010年4月1日現在)

- 1987年設立
- 会員数：336名 (2009年9月現在)
- 〒252-5210
相模原市中央区由野台3-1-1
JAXA・宇宙科学研究所気付
- Tel：042-759-8230
- Fax：042-759-8449
- E-mail：office@jsbss.jp
- URL：http://www.jsbss.jp/

現代自然科学の発展は、人類の宇宙観、生命観を大きく変えつつある。また、技術の発達によって、人類の活動の場は宇宙空間へと広がっている。宇宙生物科学は、かつてない状況の下で生まれた新しい科学の分野であり、多彩な領域を含んでいる。このような宇宙生物科学およびそれに関連する分野の学術研究を振興し、宇宙的視野に立つ生物科学を確立するため、学術集会や公開講演会を年1回開催、学術誌Journal of Biological Sciences in Spaceを年4回刊行、メーリングリスト等により会員の交流を促進し、国際的な連絡もはかっている。

● 社団法人 日本解剖学会



理事長： 内山 安男
(2010年4月1日現在)

- 1887年設立
- 会員数：2,385名 (2010年12月31日現在)
- 〒170-0003
東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル (財) 口腔保健協会内
- Tel：03-3947-8891
- Fax：03-3947-8341
- E-mail：gakkai24@kokuhoken.or.jp
- URL：http://www.anatomy.or.jp/

第116回総会・全国集会は2011年3月28-30日、内山安男会頭の下、パシフィコ横浜で開催する。学会誌は、Anatomical Science Internationalと解剖学雑誌をそれぞれ年4回発行。その他に、支部学術集会の開催、学術会議関連シンポジウムへの参画・学会抄録データベースの構築・解剖学用語の検討・解剖組織技術士の認定など。

● 日本細胞生物学会



会長： 米田 悦啓
(2010年4月1日現在)

- 1950年設立
- 会員数：1,245名 (2010年2月10日現在)
- 〒602-8048
京都市上京区下立売通小川東入
- Tel：075-415-3661
- Fax：075-415-3662
- E-mail：jscb@nacoc.com
- URL：http://www.nacoc.com/jscb/jscb/

本会は細胞生物学の進歩発展を図ることを目的として、学術集会の開催、学会誌Cell Structure and Functionの刊行、会報の発行、国際細胞生物学連合やアジア太平洋細胞生物学連合の活動への協力などを行っています。細胞生物学は、電子顕微鏡技術の発展、分子イメージング技術の発達、各種生化学的技術の開発、分子生物学と細胞工学・遺伝子工学の導入によって急速に進歩し、動物・植物を問わず、細胞の生命現象の解明は急速に進み、その成果は確実に医学・農学・薬学等へ応用されてきました。今や細胞生物学は生命科学の中心であり、本会はその進歩発展、次世代の若手研究者の育成に貢献していきたいと考えています。

● 日本時間生物学会



理事長： 本間 研一
(2010年4月1日現在)

- 1995年設立
- 会員数：600名
- 〒162-8480
東京都新宿区若松町2-2
TWIns柴田研究室
- Tel / Fax：03-3341-9815
- URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jsc/

基礎科学から応用科学に至る時間生物学の広い領域から研究者が結集している学会である。学術集会を年1回会員の持ち回りで開催するほか、機関紙「時間生物学」を年2回発行している。また、米国生物リズム研究会、欧州生物リズム学会などを統合した時間生物学会連合の幹事学会として4年に1度の時間生物学世界大会を開催、また欧州生物リズム学会やアジア睡眠学会と国際学術会議を共同開催している。

● 社団法人 日本植物学会



会長： 福田 裕穂
(2010年4月1日現在)

- 1887年設立
- 会員数：約2,100名
- 〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-2
東眞ビル2階
- Tel：03-3814-5675
- Fax：03-3814-5352
- URL：http://bsj.or.jp/index-j.php

植物学に関する研究の進展と知識の普及を図り、それによって学術全般の発展に寄与することを目的に設立された学術団体です。そのために、(1)学術集会、講演会、講習会等の開催、(2)国際学術雑誌「Journal of Plant Research」、その他出版物の発行、(3)調査及び研究、(4)学会賞を制定し、植物学の進歩に貢献した者、もしくは将来の貢献が期待される者の表彰ならびに研究の奨励、(5)国内外の関係学術団体との連絡及び協力を行っています。

● 日本植物生理学会



会長： 篠崎 一雄
(2010年4月1日現在)

- 1959年設立
- 会員数：約2,500名 (2009年8月20日現在)
- 〒602-8048
京都市上京区下立売通小川東入
- Tel：075-415-3661
- Fax：075-415-3662
- URL：http://www.jspp.or.jp/

植物と微生物を対象とした生化学、分子生物学、細胞生物学、遺伝学等の研究者による“植物の機能に関する科学”の総合学会として発展してきた。会員の約4分の1が外国人会員である。欧文誌Plant and Cell Physiologyを刊行し、植物科学分野の原著論文誌として、Impact Factorは日本で第1位、世界でも上位にランクされている。植物科学の啓蒙活動にも力を入れている。

日本神経化学会



理事長：高坂 新一
(2010年4月1日現在)

- 1958年設立
- 会員数：1,400名 (2009年8月20日現在)
- 〒160-0016
新宿区信濃町35信濃町煉瓦館
(財) 国際医学情報センター内
- Tel：03-5361-7107
- Fax：03-5361-7091
- E-mail：jsn@imic.or.jp
- URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jsn/

世界の神経科学関連学会で最も歴史が長く、神経生化学、神経薬理学、神経生理学等の基礎医学者と精神医学、神経内科学等の臨床医学者を中心とし、神経化学や関連領域の発展を目指す。大会を年1回、シンポジウムを随時開催、その他適宜社会へ情報発信と啓蒙活動を行う。また、奨励賞や育成セミナーを通じ、若手研究者の育成にも努める。

日本神経科学学会



会長：津本 忠治
(2010年4月1日現在)

- 1974年設立
- 会員数：約5,200名
- 〒113-0033
東京都文京区本郷7丁目2-2
本郷ビル9F
- Tel：03-3813-0272
- Fax：03-3813-0296
- URL：http://www.jnss.org/

脳・神経系に関する基礎、臨床及び応用研究を推進し、その成果を社会に還元、ひいては人類の福祉や文化の向上に貢献すべく、神経科学研究者が結集した学術団体です。本学会は会員の成果発表、情報交換及び連絡連携の場として学術集会を開催するとともに、英文学術誌Neuroscience Researchを発行して研究成果を世界に向けて発信しています。また、学術集会と連動して市民公開講座を開催し、社会に貢献する活動にも取り組んでいます。

日本進化学会



会長：斎藤 成也
(2010年4月1日現在)

- 1999年設立
- 会員数：1,220名 (2010年3月29日現在)
- 〒102-0072
東京都千代田区飯田橋3-11-15
UEDAビル6階 株式会社クバプロ内
- Tel：03-3238-1689
- Fax：03-3238-1837
- E-mail：shinka@kuba.jp
- URL：http://www.soc.nii.ac.jp/sesj2/

日本進化学会は、生命現象の中心が進化であるという認識のもとに、生物進化に興味を持つ研究者が中心となって1999年に設立された、若い学会です。年次大会では大学院生などの若手研究者を中心に活発な議論がされていますが、学会機関誌は持っていません。これにより年会費を安く設定し、既存の学会に属する方にも気軽に入会していただけるようになっています。

社団法人 日本生化学会



会長：北 潔
(2010年4月1日現在)

- 1925年設立
- 会員数：10,310人 (2010年2月1日現在)
- 〒113-0033
東京都文京区本郷5-25-16
石川ビル3階
- Tel：03-3815-1913
- Fax：03-3815-1934
- URL：http://www.jbsoc.or.jp/

生命現象を分子レベル・細胞レベル・遺伝子レベルで解明することをテーマとして、医学・薬学・理学・農学・工学など幅広い専門分野の研究者の研究成果の発表の場として、活動を続け、わが国の科学発展に貢献している。年次大会・シンポジウムの開催、8支部の例会の開催、英文論文誌の発行(月刊)、会誌の発行(月刊)などの学術活動のほか、若手研究者の奨励、シニア研究者の顕彰などにも取り組んでいる。

日本生態学会



会長：中静 透
(2010年4月1日現在)

- 1953年設立
- 会員数：約4,000名
- 〒603-8148
京都市北区小山西花池町1-8
- Tel/Fax：075-384-0250
- URL：http://www.esj.ne.jp/esj/

生態学の進歩と普及を図ることを目的として、大会を年1回開催、学術誌Ecological Researchを年6回、日本生態学会誌を年3回、保全生態学研究を年2回刊行。生態学研究の活性化と発展をはかるため、各賞をもうけ会員の表彰を行っている。生態学の進歩と普及を図ることを目的として、大会を年1回開催、学術誌Ecological Researchを年6回、日本生態学会誌を年3回、保全生態学研究を年2回刊行。生態学研究の活性化と発展をはかるため、各賞をもうけ会員の表彰を行っている。

日本生物教育学会

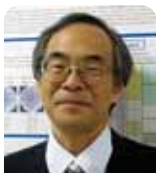


会長：米澤 義彦
(2010年4月1日現在)

- 1955年設立
- 会員数：約800名
- 〒772-8502
徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748
鳴門教育大学自然・生活系教育部内
- Tel：088-687-6413
- Fax：088-687-6447
- URL：http://homepage2.nifty.com/bioLed/

日本生物教育学会は、生物教育に関わる学術的及び実践的研究の振興を目的として活動しています。会員の研究活動の交流の場として、会誌「生物教育」を発行するとともに年2回の全国大会を開催しています。その他、国際生物学オリンピックの開催や参加への組織的な協力、地域の生物教育への組織的な協力、などの活動を行っています。

日本生物物理学会



会長：片岡 幹雄
(2010年4月1日現在)

- 1960年設立
- 会員数：約3,700名
- 〒630-0192
奈良県生駒市高山町8916-5
奈良先端科学技術大学院大学
物質創成科学研究科内
- Tel：0743-72-6100
- Fax：0743-72-6109
- URL：http://www.biophys.jp/

本学会は、「物理的科学の方法一般と生物的科学との融合による生命現象の基本的理解」を目的として設立された。この目的を達成するために、学術集会(年会)を年1回開催するとともに、学会誌「生物物理」およびOn-line journal「Biophysics」を発行している。若手研究者の育成のため、若手奨励賞による顕彰、海外派遣の支援等を行っている。また、アジア生物物理学連合に協力し、アジアの生物物理振興にも貢献している。

日本生理学会



会長：岡田 泰伸
(2010年4月1日現在)

- 1922年設立
- 会員数：2,850名
- 〒113-0033
東京都文京区本郷3-30-10 布施ビル内
- Tel：03-3815-1624
- Fax：03-3815-1603
- E-mail：psj@qa2.so-net.ne.jp
- URL：http://physiology.jp/ (日本語版)
http://int.physiology.jp/ (英語版)

年一度の学術大会(通常3月または4月)を開催する他、7つのブロックで地方会を開催している。学会誌として、英文誌(Journal of Physiological Sciences)および和文誌(日本生理学雑誌)を刊行している。2006年8月に有限責任中間法人日本生理学会となり、2009年3月以降は一般社団法人日本生理学会となった。

社団法人 日本動物学会



会長：佐藤 矩行
(2010年4月1日現在)

- 1878年設立
- 会員数：2,365名
- 〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-2
東眞ビル3階
- Tel：03-3814-5461
- Fax：03-3814-6216
- E-mail：zsj-society@zoology.or.jp
- URL：http://www.zoology.or.jp/

動物科学研究の発展と普及を目的とし、学術集会を年1回開催、本部企画シンポジウムおよび会員企画シンポジウム/講演会の開催、学術誌Zoological Scienceを年12回刊行、さらにメールマガジンの年12回発行等により会員の交流を促進し、若手の海外派遣助成や女性研究者奨励OM賞による研究者育成にも取り組んでいる。7つの支部において支部大会と県例会を開催、公開講演会や高校生ポスター賞、学生発表表彰制度などの取り組みを行っている。

日本発生生物学会



会長：相沢 慎一
(2010年4月1日現在)

- 1968年設立
- 会員数：約1,400名 (2010年2月現在)
- 〒650-0047
神戸市中央区港島南町2-2-3 理化学研究所
発生・再生科学総合研究センター内
- Tel：078-306-3072
- Fax：078-306-3072
- E-mail：jsdbadmin@jsdb.jp
- URL：http://www.jsdb.jp/

本学会は発生生物学の進歩と普及に努めることを目的として設立されました。国際誌Development Growth & Differentiationを刊行し、また年1回の大会を開催しています。さらに、国際発生生物学会の構成学会として国際的にも活動しています。

日本比較生理生化学会



会長：小泉 修
(2010年4月1日現在)

- 1978年設立
- 会員数：453名 (2010年3月25日現在)
- 〒808-0196
福岡県北九州市若松区ひびきの2-4
九州工業大学大学院生命工学研究科
- Tel：093-695-6093
- Fax：093-695-6093
- E-mail：naka2@brain.kyutech.ac.jp
- URL：http://jscp.org/

本学会は、比較生理生化学分野の学術研究を振興し、広範な生命現象の理解をはかることを目的とする。全国大会を年1回、他学会との合同シンポジウムなども随時開催している。また、年4回学術誌「比較生理生化学」を発行するとともに出版事業も積極的に推進している。さらに、ホームページ上に、関連分野のトピックを平易に解説した「動物の生きるしくみ事典」を掲載し、当該分野の魅力を広く一般に紹介することにも取り組んでいる。

日本比較内分泌学会



会長：筒井 和義
(2010年4月1日現在)

- 1975年設立
- 会員数：443名 (2010年4月1日現在)
- 〒162-8480
東京都新宿区若松町2-2
早稲田大学 教育・総合科学学術院
生物学教室
- Tel：03-5369-7542
- Fax：03-3355-0316
- URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jsce3/

日本比較内分泌学会は1961年に開催された第3回国際比較内分泌学会を契機として、わが国でも基礎的な内分泌学の発展を図ろうと1975年に設立された。学術集会およびシンポジウムを年1回開催し、学会誌「比較内分泌学」を年4回発行している。また、教育と社会貢献の一環として出版活動を行っており、ホルモンの生物科学、内分泌器官のアトラス、ホルモンハンドブックeBook新訂版、その他多数出版している。

日本微生物生態学会



会長：木暮 一啓
(2010年4月1日現在)

- 1985年設立
- 会員数：約1,000名
- 〒277-8564
千葉県柏市柏の葉5-1-5
東京大学大気海洋研究所微生物分野内
日本微生物生態学会事務局
- Tel/Fax：04-7136-6169
- URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jsme2/homeJ.html

微生物生態学は環境微生物学のほか、公衆衛生学、食品微生物学、環境バイオテクノロジー、微生物ゲノム科学なども網羅する総合的学問である。微生物生態学会はそれらを含む学会として設立され、今年で設立25周年を迎える。学術集会を年1回開催するほか、日本土壌微生物学会との共同編集により学術誌Microbes and Environmentsを年4回刊行する。

特定非営利活動法人 日本分子生物学会



理事長：岡田 清孝
(2010年4月1日現在)

- 1978年設立
- 会員数：15,250名 (2010年2月1日現在)
- 〒102-0072
東京都千代田区飯田橋3-11-5
20山京ビル11階
- Tel：03-3556-9600
- Fax：03-3556-9611
- E-mail：info@mbsj.jp
- URL：http://www.soc.nii.ac.jp/mbsj/

分子生物学は、生命現象を分子レベルで解明することを目指して、今日まで発展してきました。本学会は学問の新しい流れに大胆かつ柔軟に取り組み、形式より実質を重んじる気風を特徴に活動しています。分子生物学に関する研究・教育の推進、現代生物学の発展に寄与することを目的として、学術年会や春季シンポジウムを年1回開催し、学会誌Genes to Cellsを年12回刊行しています。

特定非営利活動法人 日本免疫学会



理事長：稲葉力ヨ
(2010年4月1日現在)

- 1970年設立
- 会員数：約5,500名
- 〒101-0061
東京都千代田区三崎町3-6-2
原島三崎ビル1F
- Tel：03-3511-9795
- Fax：03-3511-9788
- E-mail：men-eki@s3.dion.ne.jp
- URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jsi2/

日本免疫学会は、世界の免疫学会の中で2番目に大きな規模を誇っております。日本免疫学会の理念は、「免疫学を志す会員を組織的に支え、もって免疫学の発展を促進すると共に、免疫学をより広く世界に広めること」です。この理念のもとに、学術集会開催、日本免疫学会賞などの顕彰、学術誌International Immunologyやニュースレターの刊行を通じて、会員の交流促進と若手研究者の育成に積極的に取り組んでいます。さらに、サマースクールや免疫ふしぎ未来などの活動を通して、一般社会に対しても免疫(学)の重要性をアピールし、研究への理解を深めていただけるよう努めております。

社団法人 日本薬理学会



理事長：松木則夫
(2010年4月1日現在)

- 1927年設立
- 会員数：5,471名 (2009年12月末日現在)
- 〒113-0032
東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル
- Tel：03-3814-4828
- Fax：03-3814-4809
- URL：http://www.pharmacol.or.jp/

薬理学に関する学理及び応用の研究についての知識の普及、会員相互及び内外の関連学会との連携協力により、薬理学の進歩を図るため、年会、地方部会(年6回)、共催シンポジウム、セミナー、及び市民公開講座を開催し、学術誌Journal of Pharmacological Sciences及び日本薬理学雑誌を毎月発行している。また江橋節郎賞、及び若手を対象とする奨励賞等の顕彰も行っている。

生物科学学会連合入会(加盟)のご案内

生物科学学会連合は生物科学に関連する学術団体の連合体で、その構成員(会員)は個人ではなく学協会です。
入会方法の詳細は、生物科学学会連合事務局へお問い合わせください。

生物科学学会連合

中西印刷株式会社 東京事務所内
〒113-0033 東京都文京区本郷5-29-12-1304
Tel: 03-3816-0738 Fax: 03-3816-0766
E-mail: seikaren@nacoss.com

<http://www.nacos.com/seikaren/>

